

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

平成29年2月28日
関東運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				⑥事業の今後の改善点	二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・効果 達成状況				
東海村地域公共交通会議	茨城交通株式会社	東海駅東口～茨城東病院	住民及び利用者を対象としたアンケート・ヒヤリング調査の結果及び平成27年度に実施した路線バスの実証実験結果等を基に路線を選定	事業が計画に位置付けられたとおり適切に実施された	ある程度の利用者確保には成功しているが、目標としている数値を達成するためには更なる利用促進・周知活動の実施が必要である。	通勤・通学利用の更なる増加を図るため、事業者や学校等を通じた利用促進活動に取り組むとともに、沿線自治会等との連携により高齢者や将来の公共交通利用者となる子どもたちへの普及啓発に努める。	事業が計画に位置づけられたとおり適切に実施されており評価できる。目標の利用者数には達していないものの、今後も利用促進策等を行い、持続可能な交通体系の確立に向けて取り組みことを期待する。 なお、平成28年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取り組みを行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○目標設定は、過去実績に基づくものではなく、需要予測等による将来の計画に基づくものとして設定することが重要。 ○目標達成の有無だけでなく、どうしてその結果に至ったのかを分析することが重要。また、分析結果をオープンにしておくことも重要。 ○目標を高く設定しPDCAサイクルを効果的に回すことが重要。 ○利用実績に応じて、継続的に運行計画を見直していくことが重要。 ○利用者のターゲットを明確にし、ターゲットに見合った改善を行うことが重要。		